

教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切に
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子

	学校だより 高松 令和8年1月8日 発行	立川市立第五小学校 校長 関口 保司 〒190-0011 立川市高松町1丁目12番25号 TEL 042-523-5238 042-523-5230 (こだま学級) FAX 042-529-0854 HP http://www.tachikawa-edu.jp/es05/
---	-----------------------------------	---

挑戦 チャレンジ

校長 関口 保司

令和8年、新しい年が始まりました。今日から3学期のスタートです。始業式で私は子どもたちに次のようなことを話しました。

「今年のテーマは『挑戦 チャレンジ』です。学習のことや生活のこと、学校でのことや家でのこと等、一人一人が今年はこのことに『挑戦 チャレンジ』するかを決めていきましょう。皆さんが『挑戦 チャレンジ』するように、学校も今年は大きな『挑戦 チャレンジ』を行います。まず明日9日(金)に、全員に新しいタブレットPCを配ります。このタブレットPCを使って、さらに勉強を頑張ってください。」

令和2年11月。文部科学省のGIGAスクール構想を基に、立川市でも一人一人にタブレットPCを配布しました(低学年は令和3年5月)。それまでは学校に40台のタブレットPCが整備されていただけでした。当時はコロナ禍ということもあり、この一人一台のタブレットPCを活用し、実践していくなかで、子どもたちの情報活用能力は大きく向上しました。授業で探求的な学習を行ったり、発表する際にタブレットPCを活用したりしてきました。また運動会などの学校行事で、動画を見て練習を行うこともありました。一人一台のタブレットPCは、小学校でも当たり前の道具となってきましたが、世の中の状況は、さらに大きく進歩していきます。特に生成AIの進化は著しく、多くのことが便利になるとともに、使う人のモラルが大事な時代になりました。情報機器は新たな視点に気付かせてくれたり、大量のデータから必要なものを選び出したりするには便利ですが、文章の引用や画像の加工等、場合によっては罪に問われることも出てきています。子どもたちにもそれらのことを伝え、タブレットPCも一つの道具として活用する力を付けていきたいと考えています。またこのような時代だからこそ、コミュニケーションの力や課題を発見する力、多様性を認め、ともに幸せになろうと努力し向上しようとする力が必要だともいえるでしょう。体験を通じた学習や実物を活用した学習等も大切にしながら、デジタルとアナログの両方をうまく使いこなすことが重要です。

今回新たにタブレットPCを配布するとともに、学校の通信環境も整備しました。教室で子どもたちが同時にアクセスしても、以前よりもつながりやすい環境になりました。また各教職員にも新しいノートPCを配布し、子どもたちへの授業と、学校の校務が行いやすいようにしました。

今年はこれらの機器を上手に活用し、子どもたちに新しい力を付けることが本校の『挑戦 チャレンジ』です。本年も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。